

東洋大学校友会事業報告

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

校友会は「新しい時代の魅力ある校友ソサエティの実現」をビジョンとして掲げ、校友会の活性化と改革に取り組んでおります。その中であって、2020年度支部長会における重要項目として、①一般社団法人化、②校友会費の代理収納復活について、③校友会コミュニケーションの活性化について、④大学との情報共有及び校友会コミュニケーション改革について の4項目について承認をいただき活動して参りました。法人化につきましては2020年9月5日の臨時支部長会での決議により、10月1日をもって任意団体から一般社団法人に移行いたしました。法人化の目的は、組織としての「社会的信用」や「透明性や説明責任」を確立し、自らを律しつつ会の目的を達成することにあります。今回の法人化にあたっては、127年の歴史を踏襲しつつ定款も従前の校友会会則をベースとして、全校友の代表組織となるよう定めると共に大学との協調姿勢を明確にしました。

一般社団法人への移行に伴い、10月以降、理事会において2021年度代議員会に向けた地域・年代等の網羅性を念頭においた代議員、理事、会長・副会長、監事の選任方法について協議を重ねるとともに、校友会活性化のための新たな部会を設置して活動してまいりました。

代理収納復活に関しましては、「校友会費の代理収納復活」ならびに「卒業生情報の共有」の実現に向けて継続的に大学との交渉に当たり、代理収納金額の妥当性及び会の運営方針を明確に示し、母校の発展に寄与するとの考え方を説明して参りました。これにより、大学よりご提案をいただいている段階に至っております。

校友会の運営に対する考え方並びに大学との交渉状況につきましては、4月より8月まで「東洋大学校友会の活性化と改革への道筋」と題する報告書を支部長、代議員の皆様へ配布しご理解をいただけるよう努力して参りました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により校友会活動も支部総会開催などさまざまな面で制約を受けざるを得ませんでした。そうした状況の中であって ICT の活用による校友会コミュニケーション活性化のため、8月より支部から IT 推進委員を選任いただき、数度の研修会を経て、オンライン会議システムにより地方の会員の皆様とのコミュニケーションが可能な体制を徐々に整えることができました。理事会もオンラインで実施出来るまでになりました。

また、ホームページのリニューアルやメールアドレス収集キャンペーンを実施して約8,000名の校友の皆様と双方向のコミュニケーションが実現可能となっており、定期的にメールマガジンの配信を行っております。メールアドレスの登録数では、従来、当会への関心が低かった30代の校友が最も多く、今後新たな展開が望めるものと期待しています。新型コロナの収束後も、会勢拡大にはデジタルとアナログの融合が大きな役割を果たすものと考えております。

校友会運営にご理解を賜りました支部長ならびに支部会員の皆様には、深く感謝申し上げます。

I 事業計画概要

1 運営の基本方針について

- ・母校である東洋大学の興隆発展に貢献する組織となるために、会の活性化と改革に着手中であり、その実現のためにIT化推進に大きく舵を切り、支部とのコミュニケーション活性化を包含するオンライン会議の導入に取り組んだ。
- ・ボランティア精神にもとづき、在学生を支援するため、大学のコロナ禍困窮学生支援の「H a

nds to Hands 支援」に協力し、多数の校友からの食糧寄付により大きな成果を上げることができた。

2 組織について

- ・非営利団体としての責任と信用を獲得するため、任意団体から一般社団法人へと移行するものとし、9月の臨時支部長会で承認を得て、2020年10月1日付で「一般社団法人東洋大学校友会」に移行した。
- ・全校友を代表する組織として、近い将来において複合型組織となることを見据え、当会と他の卒業生団体とが共存繁栄する連合組織体を展望した内容を組み込むための定款ならびに規程類の見直しを行った。

3 主な事業計画について

- ・当会の運営に関する重要事項を審議・決定する支部長会は、5月16日（土）に白山校舎で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため書面による審議、議決権行使により実施した。また、当会の一般社団法人化に関する重要議案については、9月5日（土）に臨時支部長会を実施し、同じく書面による審議、議決権行使により行った。
- ・全学的行事である当会の学生研究奨励基金制度について、授与式は新型コロナウイルス感染の影響で中止せざるを得なかったが、例年どおり校友会奨学金、学生研究奨励賞対象者を選考、授与を決定した。
- ・文学部の協力を得て開講している「校友会寄付講座」は、リモートによる非対面事業により継続して実施した。

II 会 議 関 係

1) 支部長会

支部長会は、新型コロナウイルス感染症拡大の現状に鑑み、2020年5月16日（土）を実施日として、書面による審議、議決権行使により行った。①議決権行使者総数 64 名（支部長 61 名、会長 1 名、副会長 2 名）②議決権行使書返送 61 名 ③議決権行使書返送なし 3 名。

議決結果は以下のとおりで、すべての議案について過半数の賛成をもって可決された。

第1号議案	2019年度会務報告について	賛 60 名	否 1 名
第2号議案	2019年度決算報告について 公認会計士監査報告・監事監査報告	賛 58 名	否 3 名
第3号議案	2020年度事業計画（案）について	賛 58 名	否 3 名
第4号議案	2020年度予算（案）について	賛 59 名	否 2 名
第5号議案	㈱学校コミュニケーションネットワークスとの契約締結について	賛 54 名	否 6 名 賛否記載なし 1 名
第6号議案	常任委員の選出（欠員補充）について 池俊一氏（千葉）	賛 61 名	否 0 名
第7号議案	選挙管理委員の選出について		
	・荻原富保氏	賛 60 名	否 1 名
	・天野茂雄氏	賛 61 名	否 0 名
	・高田和生氏	賛 61 名	否 0 名
	・谷口美保氏	賛 61 名	否 0 名
	・高沢佳弘氏	賛 61 名	否 0 名

2) 臨時支部長会

当会の一般社団法人化に関する議案を審議するために予定していた臨時支部長会は、5月の支部長会に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面による審議、議決権行使により行った。

①議決権行使者総数 64名（支部長 61名、会長 1名、副会長 2名）②議決権行使書返送 58名 ③議決権行使書返送なし 6名。

議決結果は以下のとおりで、すべての議案について過半数の賛成をもって可決された。

第1号議案 一般社団法人化について

① 定款（案）	賛 54名 否 3名
② 運営規約（案）	賛 53名 否 4名
③ 正会員および会費規程（案）	賛 54名 否 3名
④ 代議員選出規程（案）	賛 54名 否 3名
⑤ 会長・副会長ならびに監事選任規程（案）	賛 54名 否 3名
⑥ 理事選任規程（案）	賛 54名 否 3名

第2号議案 常任委員の選出（欠員補充）について 村田薫氏（城南） 賛 46名 否 11名

報告事項 ①大学交渉の進捗状況について 了 52名 否 4名 記載なし 1名

②情報化システム推進による活性化について 了 52名 否 5名

3) 会長・副会長会、常任委員会、理事会、部会など

①会長・副会長会

・原則として理事会（常任委員会）の前と後に1回ずつ開催し、会議の進行と議決事項の確認を行った。

②常任委員会ならびに理事会

・2020年4月から9月まで（8月を除く）メール審議により毎月1回常任委員会を開催し、一般社団法人移行後の10月以降は毎月1回（第2土曜日）、オンラインにて理事会を開催した。

また、12月より理事会傍聴制度を設け、傍聴を希望する地方支部の支部長等が理事会に参加できる体制を整えた。

③部会など

・一般社団法人移行後に設置された5部会（総務、財務、広報、支部支援・若年層活性化部会、コンプライアンス）が、必要に応じてそれぞれオンライン会議を開催して業務の執行に当たった。

III 組織関係

1) 支部総会

新型コロナウイルスによる感染状況や政府の方針などを踏まえ、各支部において開催手法等を判断してもらった。感染防止対策を徹底し総会を開催した支部は8支部、その他は役員会を総会の代わりとして開催（書面議決を含む）された。

2) 会費納入状況

2020年度の会費納入者は、年会費 3,837名、終身会費 74名、新卒者納入会費 17名で合計 3,928名であった。昨年度は 4,319名で 391名の減少となった。

また、前年度までの終身会費納入者 7,516名および新卒者納入会費 31名を加えた会費納入者総数は 11,475名で、昨年度の 11,752名より 277名の減少となった。

3) 寄付金の募集

2020 年度も学生支援のための寄付金募集を行った。「学生スポーツ支援事業募金」は 2,764,250 円、「学生教学支援事業募金」は 1,780,105 円で、合計 4,544,355 円となった。昨年度の合計額より、42,352 円の減少となった。

4) 支部長交替

高知県支部：2020 年 4 月 1 日付で 長崎伸輔氏から種田生司氏（昭 49 法律）に交替
栃木県支部：2020 年 9 月 12 日付で 福原洋氏から野澤幸洋氏（昭 43 法律）に交替
大阪府支部：2021 年 4 月 1 日付で 西中節子氏から若元良嗣氏（昭 63 法律）に交替
十勝支部：2021 年 4 月 1 日付で 但田辨蔵氏から増子和則氏（昭 56 法律）に交替

5) 代議員交替

高知県支部：2020 年 4 月 1 日付で 長崎伸輔氏から国沢憲一氏（昭 56 社会）に交替
城南支部：2020 年 7 月 10 日付で 谷川隆一氏から相馬和恵氏（昭 63 国文）に交替
群馬県支部：2020 年 7 月 18 日付で 厚木隆夫氏から矢野知彦氏（昭 54 土木）に交替
栃木県支部：2020 年 9 月 12 日付で 福原洋氏から野澤幸洋氏（昭 43 法律）に交替
埼玉県東部支部：2020 年 10 月 30 日付で 廣田剛氏から伊藤祐二氏（昭 51 経法）に交替
十勝支部：2021 年 4 月 1 日付で 但田辨蔵氏から増子和則氏（昭 56 法律）に交替

6) 役員人事

常任委員の交替

2020 年 7 月 9 日付で 宮本操氏（城南）から村田薫氏（平 28 イン哲）に交替

7) 支部活動：支部会報・ホームページ・ブログ

◇支部会報（18 支部）

函館支部「校友函館」第 28 号	岩手県支部「岩手県支部会報」第 17 号
宮城県支部「東洋宮城」令和 2 年度	栃木県支部「マロニエだより」第 14 号
群馬県支部「校友群馬」第 28 号	埼玉県東部支部「彩の国さいたま」第 16 号
埼玉県西部支部「埼玉県西部支部だより」第 15 号	千葉県支部「房総千葉」第 26 号
城東支部「城東 Now」第 1 号	城北支部「雨水」第 31 号
三多摩「Sun 多摩」第 12 号	新潟県支部「雨水」第 36 号
富山県支部「黎明」第 43 号	福井県支部「会報ふくい」第 49 号
三重県支部「観想の華」第 11 号	山口県支部「山口県支部会報」第 9 号
宮崎県支部「宮崎県支部だより」第 12 号	鹿児島県支部「支部会報」第 15 号

◇ホームページ（4 支部）

静岡県支部 大阪府支部 鳥取県支部 徳島県支部

◇支部ブログ（34 支部）

函館支部 北見支部 釧路支部 青森県支部 岩手県支部 秋田県支部 山形県支部 福島県支部
栃木県支部 群馬県支部 埼玉県東部支部 埼玉県西部支部 城東支部 城北支部 三多摩支部
神奈川県支部 新潟県支部 富山県支部 石川県支部 長野県支部 岐阜県支部 愛知県支部
京都府支部 兵庫県支部 島根県支部 岡山県支部 広島県支部 香川県支部 佐賀県支部
長崎県支部 熊本県支部 鹿児島県支部 中国上海支部 中国出身者会

IV 事業関係

1) 校友大会

10月25日(日)に大学主催のホームカミングデーと同日に開催する予定であったが、ホームカミングデーの全企画がオンラインで開催されたこと、新型コロナウイルス感染症の影響により従来と同じ会食の場を設定できないことから退会を中止とした。

2) 校友会奨学金・学生研究奨励賞の授与

「校友会学生研究奨励基金規則」にもとづく運営委員会の実施日を2021年2月22日(月)としてメールによる回答・承認により2021年度校友会奨学金・2020年度学生研究奨励賞の授与対象者を選考・決定した。授与式を3月18日(木)に挙行予定であったが、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。この助成金制度は、1971年度に創設され2020年度で通算49回となり、総授与数は2,985件(うち奨学金203名)となった。校友会奨学金の授与および学生研究奨励賞の受賞一覧は、会議資料81～85頁参照。

校友会奨学金	5名	年間1名	30万円
学生研究奨励賞(大学院30 学部50)	80名	1名	2万円

3) 校友会寄付講座の実施

校友会寄付講座は、学祖井上円了の建学の精神を学ぶため、2003年度から校友会と大学が協力して開講しており(担当:文学部)、2020年度で開講18年目を迎えた。「日本の近代化と東洋大学―井上円了の哲学と実践」をテーマとし、東洋大学を知り自らのアイデンティティを確立する一助となることを目的とするもので、新型コロナウイルス感染症の影響で、春学期、秋学期ともにリモートによる非対面授業で実施された。

4) 平和祈念之碑に集う会

10月4日(日)に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、役員等によるが献花のみの形式をとり、従来の集会は中止とした。

5) 校友会のIT化推進

① メールアドレス収集キャンペーンの実施

・7月20日(月)から9月30日(水)までをキャンペーン期間として、全国支部の協力を得てメールアドレスの収集を展開した。メールアドレスの収集は、ホームページ経由で簡単なメルマガ登録の呼びかけをするかたちで行い、約8,000名(目標:1万名)の登録者を獲得することができた。

② オンライン会議導入研修会

・改革の重要な柱のひとつである「IT化推進」のため、8月以降、支部からIT推進委員を推薦・選任してもらうとともに、オンライン会議導入のためZoomによる体験研修会や主催者研修会を継続開催した。これらの研修会を経て、本部から支部へのZoom貸出しも行い、支部内でのコミュニケーション手段に活用できるようにした。

6) 女性連絡会総会

新型コロナウイルス感染症の影響により5月17日(日)を実施日として、書面による審議・議決により総会を行った。

7) 『校友会報』の発行

雑誌版として、会費納入者宛てに第 278 号、第 279 号の発行を行った（発行月日：5 月 1 日、10 月 1 日）。

8) 「校友会ジャーナル」の発行

支部長、代議員、支部役員向けに本部からの事務連絡的な内容を主として、第 261 号から第 269 号までを発行した。第 264 号（2020 年 10 月発行）からは、一般社団法人化を機に電子版を前提にした作りリニューアルし、毎月発行することになった。

9) メールマガジンの配信

2020 年 8 月 23 日、校友会システムに登録されていたメールアドレス 7376 件に対し、第 1 回のメルマガ配信を行った。（内、無効アドレス 630）以後、3 週間に 1 回の頻度で配信を行った。2021 年 3 月まででメルマガ（大学情報含む）の配信回数は 14 回、配信件数は 3 月 29 日の配信で 7674 件となっている。

10) ホームページのリニューアル

2020 年 8 月 1 日付で、全面リニューアル公開した。全ページ SSL 化・モバイル対応とし、支部ブログの投稿ルールも変更した。

11) 校友会事務システム

全校友（全卒業生）の会員情報や会費納入の管理など、校友会の情報化は平成 4(1992)年 7 月、大学情報センターとの連動によってスタートした。その後約 20 年、校友会は大学とともに卒業生データの更新等を行ってきたが、大学の学内事務システムの変更に伴い、平成 24(2012)年 4 月より校友会は大学の情報ネットワークから独立した。

これにより、卒業生データを校友会と大学それぞれで持つことになったため、氏名・住所の変更情報等を大学（卒業生・雨水会連携推進室）と互いに提供することになった。また、個人情報の取り扱いについては、平成 17 年 4 月の「個人情報保護法」施行後、元となる卒業生データは大学が有する関係上、大学とは「個人データの提供に伴う個人情報の秘密保持及び安全管理に関する契約書」を締結しており、今後も継続して運用していく。

なお、平成 24(2012)年 9 月卒業以降のデータの受け渡しについては話し合いが継続中のため、上記情報の交換については平成 24(2012)年 3 月卒業までを対象とし、平成 24(2012)年 9 月卒業以降の情報交換は行われていない。

▶令和元(2019)年度新卒者(2019.9,2020.3)については大学を経由して、校友会報、払込用紙等を送付した。

V 慶 弔 関 係（本部事務局にお知らせのあった方々を掲載）

1) 慶 事（2021 年 3 月 31 日まで）

東田孝三氏（1966 建築） 2020 年春の叙勲で瑞宝双光章（更生保護功労）を受章。

櫻本広樹氏（1985 経法） 2019 年 4 月 7 日実施の山梨県議会議員選挙において 3 期目当選、同年 5 月山梨県監査委員に就任。

遠藤康洋氏（1984 経営） 2020 年 5 月 15、岡山県議会の臨時会で副議長に選出される。任期は 1 年。

岡本一夫氏（1978 経営） 2020 年 6 月 12 日、福井信用金庫の理事長に就任。

中村 平氏（1967 経営） 2020 年秋の叙勲で瑞宝双光章（更生保護功勞）を受章。

桜本広樹氏（1985 経法） 2020 年 12 月 15 日、130 代山梨県議会議長に就任。

2) 弔 事（2021 年 3 月 31 日まで）

山田喜彦氏（1957 経済 鳥取 元支部長・代議員） 2020 年 3 月 29 日死去 92 歳

宮澤哲郎氏（名誉教授 元工学部教授） 2020 年 8 月 18 日死去 83 歳

青柳宣生氏（元総合情報学部教授） 2020 年 8 月 19 日死去 75 歳

小林修一氏（名誉教授 元社会学部教授） 2020 年 8 月 28 日死去 69 歳

重富健一氏（名誉教授 元経済学部教授 元大学常務理事・理事・評議員）

2020 年 10 月 11 日死去 97 歳

宮澤 忠氏（1959 経済 山形 元支部長・代議員 元大学評議員） 2020 年 10 月 12 日死去 83 歳

河田昭二氏（1952 哲学 函館 元支部長・代議員 元大学評議員） 2020 年 10 月 12 日死去 93 歳

田中郁三氏（元大学職員 元大学評議員） 2020 年 10 月 27 日死去 82 歳

阿部利雄氏（1956 経済 三多摩 元大学評議員） 2020 年 11 月 21 日死去 87 歳

辰野正樹氏（1966 経営 千葉 元支部代議員） 2021 年 1 月死去 77 歳

小野寺齐氏（1963 国文 長崎） 2021 年 3 月 2 日死去 81 歳

八木江里氏（名誉教授 元経済学部教授） 2021 年 3 月 4 日死去

VI 表 彰

「表彰に関する規程」による第 25 回表彰を 2020 年 5 月に実施した。

1) 永年表彰

支部長永年表彰（在任 10 年） 1 名

和歌山県支部／宮内康司

代議員永年表彰（3 期 9 年） 2 名

岩手県支部／板橋政志

城西支部／元持秀人

2) 退任支部長表彰（2019 年度退任） 6 名

小樽支部／嘉屋達雄

秋田県支部／佐藤唯直

城南支部／関本暢彦

高知県支部／長崎伸輔

宮崎県支部／原田 健

鹿児島県支部／松下健一